

日本歯科医学教育学会共催シンポジウム | 特別講演

超高齢社会に対応できる臨床能力の養成プログラムを考える - ICTを活用した共通の準備教育と多様な臨床実習の実施

座長:宮崎 隆(昭和大学歯学部歯科理工学部門)

Fri. Jun 22, 2018 3:50 PM - 5:00 PM 第3会場 (6F 大会議室)

共催: 日本歯科医学教育学会

【略歴】

1978年 東京医科歯科大学歯学部卒業
1984年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了・歯学博士
1984年 昭和大学歯学部講師 (歯科理工学講座)
1991年 昭和大学歯学部教授
2003年 昭和大学歯学部長
2016年 昭和大学副学長
一般社団法人 日本歯学系学会協議会 理事長
公益社団法人 日本口腔インプラント学会 常務理事

【抄録】

学生が臨床実習の中で実際に経験できる症例を均一化するのは難しく、経験しても知識が不足しているために未消化になる場合も少なくないと考えます。超高齢社会に対応できる臨床能力を養成するために臨床実習の充実を図ることを目的として、3大学と関連歯科医師会で開発した共通のICT教材を用いて、超高齢社会で必要となる知識を臨床実習前に修得する学修プログラムを実施しています。

本シンポジウムでは、共通のICT教材を活用した準備学修教材の概要と、地域の異なる大学で実施した臨床実習で得られた成果について3大学の演者が報告します。この取り組みを全国の多くの大学に広げ、超高齢社会のさまざまな地域医療をテーマとしたICT教材を作成し、活用することにより、各大学が超高齢社会に対応するための充実した臨床実習を実施できると考えます。このICTを活用した教育プロジェクトについて、参加者も含めてディスカッションを行いたいと思います。

[S4-3]北海道医療大学における高齢者施設・一般開業歯科医院実習への活用

○越野 寿¹ (1. 北海道医療大学歯学部)

【略歴】

1985年 東日本学園大学歯学部卒業
1985年 東日本学園大学歯学部助手
1993年 博士 (歯学) (東日本学園大学)
1993年 東日本学園大学歯学部講師
2003年 北海道医療大学歯学部助教授
2010年 北海道医療大学歯学部教授 (現在に至る)
日本補綴歯科学会指導医・専門医
日本老年歯科医学会指導医・認定医
日本補綴歯科学会理事・代議員
日本老年歯科医学会評議員

北海道医療大学の教育理念は、生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することです。これを具現化するためには、超高齢社会に対応できる臨床能力の育成が不可欠なものとなっております。

本学では第1学年では、個体差健康科学・多職種連携入門、医療人間学演習を通じて、高齢者を知り多職種を知

る学習を行い、第3、5学年で3大学共通のICT教材を活用した超高齢社会対応教育を行っております。これらの超高齢社会に対応する準備教育を経て、第5、6学年の臨床実習で、その仕上げを行うこととなりますが、本シンポジウムでは、高齢者施設・一般開業歯科医院を活用した臨床実習について、超高齢社会に対応できる臨床能力の養成の観点からの紹介をさせていただきます。